

道路を考える会は、札幌市の都市計画道路3・2・10 環状通（南19条西7丁目～西15・16丁目）の整備計画について、従来の車優先で車道ばかりの広い道路から、歩行者や自転車などが、快適に利用できる歩道の広い道路に、整備計画を少しだけ変えてほしいと、札幌市へお願いしている市民活動団体です。

道路通信 8

いつも、お世話になります。
住みやすい地域を守るため・交通安全を求めて、
市民活動をいたしております。

署名を集めています。ご協力をお願い申し上げます。

要望書を札幌市へ提出します。多くの声の力が必要です。
署名という形で、多くの声で、札幌市へ伝えたい。
ご協力をお願い申し上げます。

「道路を考える会」の要望案は、

札幌市の都市計画を否定するものではありません。

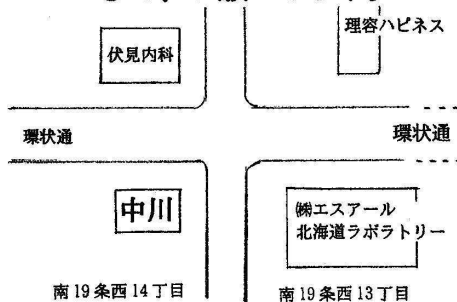
札幌市は、ここに多くの車を通したいという目的を持って、道路の幅を広げ・車線数を増やし・今の約2倍の交通量を負担させる計画です。今の整備計画のままに道路が出来てしまえば、歩道は今と同じ幅で、車が2倍も通る状況となります。車道の幅は、20mになります。（石山通の車道の幅は16mです。）

道路を考える会の要望案は、車道の幅17mです。石山通より広い車道幅です。申し訳ありません。

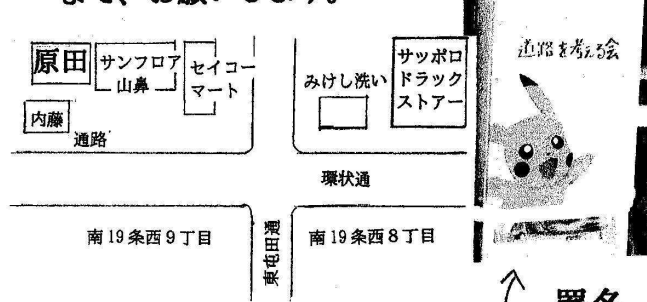
札幌市の車を多く通したいのと、その状況でも、いくらかでも地域を守りたいという折衷案的な提案であります。現計画にはないですが右折車線の整備は、必要です。計画が昭和40年というあまりに古い計画のため、右折車線は無いのでしょうか。

署名用紙にご署名いただき、

西14丁目中川宅郵便受、
まで、お願いします。



西9丁目原田宅回収箱
まで、お願いします。



ご協力いただいている町内会様の署名と同じものです。

署名
回収箱

道路を考える会 代表 原田 さちこ

幌南小、柏中、藻岩高校、札予備（一浪）、北海道大学水産学部卒業（昭和62年）主婦

要望事項は

現整備計画の歩道と車道の割合を見直し

歩道を広くとった道路として整備する。

車道は、片側2車線に、右折車線の整備された道路、

より交通安全を考えた車道とする。

地域の負担軽減のため、車線は6から5へ削減を求めます。

このような、要望書を予定しております。

要望書の提出は、道路課様に提出いたしたいと考えておりますが、

道路課様に、お願いいたしましたところ、

要望は、車線数の変更が必要になりますので、

交通計画課へ行ってくださいとの、対応です。

これから、「要望書案」をもって、交通計画課様にお受け取りいただけるのかを、ご相談します。

整備事業は、平成26年度から実際の工事が始まるので、時間がありません。（平成26年4月から）

提出先や、受け渡しの日時が決まりましたら、再度ご報告いたします。

できれば、地域の皆様と札幌市役所の1階ロビーに集合し、多くの人数で札幌市の皆様に要望書をお渡しし、地域の暮らしやすさや交通安全な道路を考えていただきたいとお願いいたしたいです。

提出の際にも、ご協力をお願い申し上げます。

提出先が決まっておりませんが、道路はつくられてしまいます。つくるのは、道路課です。地域の説明会も道路課です。道路についての要望書なのに、取り合ってもらえないのは、どうしてなのでしょう。

道路を考える会 代表 原田さちこ